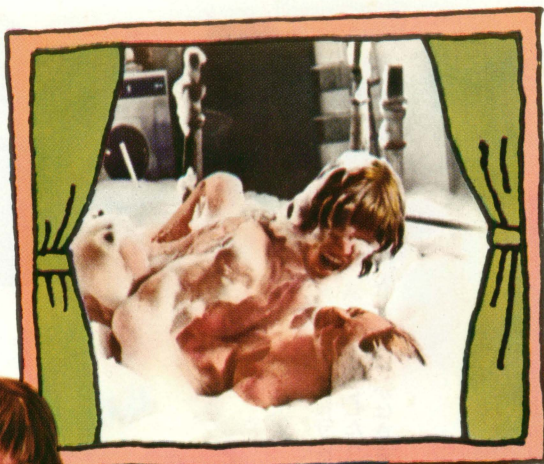




\*オモミツ・ダン・ウィット

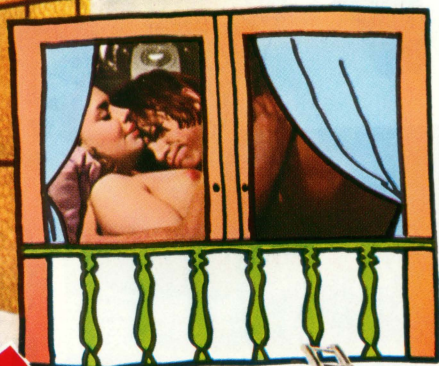


ロビン・アスクウィズ  
リンダ・ヘードン  
アンソニー・ブース  
シーラ・ホワイト

監督バル・ゲスト  
撮影 ノーマン・ワーウィック  
音楽サム・スクレアー  
コロムビア映画



グウィー



ドッキリ・ボーイ

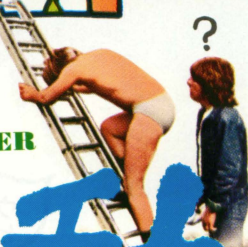
CONFESSIONS  
OF A  
WINDOW CLEANER

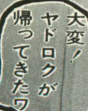
■ カラー作品 ■

窓拭き大騒動

まどふ

だいそうどう





「窓拭きは一度やたらやめられない」と、自称プレイボーイの主人公が、窓拭き稼業を始めた。窓から部屋をのぞきアレに夢中になっている男女をながめたり、一人住まいの若い女性をからかつたり、と結構役得も多いのがこの商売。

その上、主人が出かけてしまった家で、人妻だけが残っている時などはバツグン。どうせ欲求不満のカタマリみたいな彼女たちのこと、浮気心を出して窓拭きボーイに迫ってくるチヨイチヨイとちよつかいだしては、欲求不満を満だしてやるのも商売のうち……。

この映画はそんな主人公がハシゴを片手に、オフィス街を住宅街を走りまわり、窓拭きに精を出しながら、アツチの方も楽しんでいくうちに、一家そろって警官という婦人警官に恋してしまい、それがもとでさまざまな騒動がもちあがるといふ、イロ気と笑いに包まれたピンク・コメディの傑作である。

主人公の窓拭きボーイには、「F もしも」や「カンタベリー物語」に出たギリスの新人ロビン・アスクウィスが扮している。お相手のカワユイ婦人警官には「水滴（しずく）」「ドラキュラの血の味」のリンダ・ヘードン。その他、アンソニー・フース、シエラ・ホワイト、タンディー・ニコルズらが共演している。

この第一作が好評のため「ドッキリ・ボーイ」としてシリーズ化されることが決まっている。

監督は「オフ・カジノロワイヤル」（共同）、「恐竜時代」のバル・グエストで、脚本もフリストファー・ウッドと共同で当たった。

ドッキリボーイ  
窓拭き大騒動

＜カラー作品＞  
コロムビア映画

まどふ  
だいそうどう

だいそうどう

▲旦那の留守に、急いでコトを済ませようとしたら、彼女の「アノ」へアにチャックがはさまって…「アレレ…」

かんなもスギねえ

ことしようよ

もう、タアイヘン!

**\*3分に一回大爆笑! 5分に一回ドツキリ!**

▲窓を拭きながら、チョイと中を見た  
「アリヤリヤ…」大胆に広がった足が  
目の前に！ついコーファンして…

▲「ネエ、早く早く…」  
「こんな体位でいいのかな？」

ウヒ  
ウレ

11月1日(土)ロードショー! **テアトル銀座** (561)  
7938